

●設立の経緯

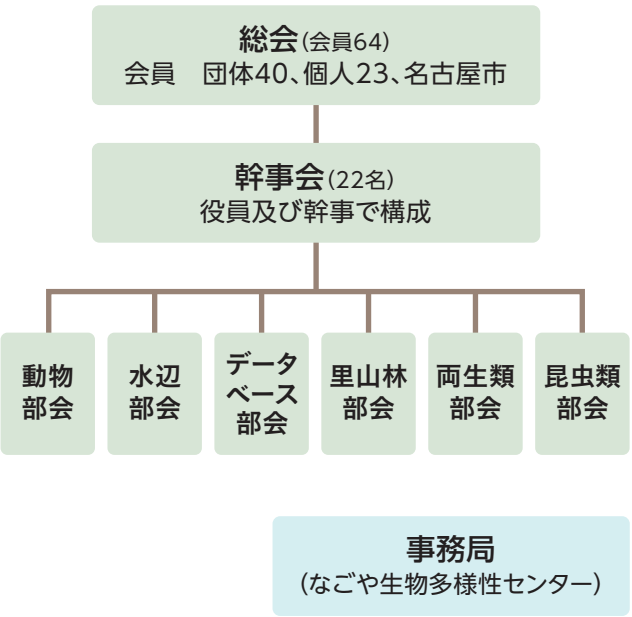
「生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)」の名古屋市開催(2010年)を契機として市民の間で盛んになった、身近な自然や生きものを守り育てていこうという取り組みを継承・発展させていくため、市民(団体)、専門家、行政等による協働のプラットフォームとして2011年5月に「なごや生物多様性保全活動協議会」が設立されました。また、同年9月には名古屋市が「なごや生物多様性センター」を設立、協議会の事務局を務めています。

2021年にセンターとともに設立10周年を迎えました。

●活動の目的

- なごやに生息・生育する生物及びその環境を継続的に調査し、生物多様性の現状を把握する。
- 外来種防除などを通し、身近な自然の保全を実践する。

●組織 (2022年8月末現在)



会員の募集等

●なごビオ会員を募集しています

なごビオの趣旨に賛同し、ともに活動に携わって下さる団体・個人を募集しています。申請書をご提出いただき、なごビオの承認を経て加入していただけます。

●市民生きもの調査員を募集しています

なごビオが実施する生きもの調査等に参加していただく方を募集しています。調査員にはなごビオのイベントのご案内を随時差し上げます。

●助成金制度への寄付を募集しています

なごビオでは自然環境保全に取り組む学校の部活動等に助成金を交付し、支援しています。この助成金制度に対する寄付を募集しています。皆さまの寄付金が環境保全活動の次世代の担い手づくりにつながります。

詳しくは下記ウェブサイトをご覧ください。
https://www.bdnagoya.jp

ウェブサイト
二次元バーコード ▶



なごビオの所在地・連絡先

名称: なごや生物多様性保全活動協議会
住所: 〒468-0066
名古屋市天白区元八事五丁目230番地
(なごや生物多様性センター内)
電話: 052-831-8104 FAX: 052-839-1695



参加者の募集は「広報なごや」等で行っています。
ぜひ、ご参加下さい!



なごや生きもの一斉調査



毎年、夏休みに小中学生を対象に「夏休みの宿題応援します!」をテーマに、生きものたちに直接出会うフー

ルドフーンから室内での実習まで、幅広い講座を行っています。毎年、定員を大幅に上回る多くのご応募をいただいています。

なごや生物多様性サマースクール

1 広報・PR事業

2015年度から毎年5月に山崎川/河川敷(瑞穂区)でオオキンケイギクの駆除活動を継続して実施しています。また、市民参加による抜き取り会も実施しており、オオキンケイギク対策の啓発にも努めています。

オオキンケイギク対策



池の水を抜いて、そこで生息・生育している生物種・個体を調査し、外来生物を除去するなどして、生息・生育環境を改善しています。また、生きもの観察会などによる環境

池干し

最近の実績

- 2021年度 猪高緑地すり鉢池
- 2020年度 熱田神宮南神池
- 2019年度 庄内緑地カマ池

伊藤 隆之	名古屋市環境局環境企画部主幹
矢部 隆	日本カミナリ自然誌研究会
森山 昭彦	個人会員 (中部大学応用生物学部環境生物科学科教授)
藤谷 武史	尾張サレンショウウオ研究会
長谷川 泰洋	名古屋産業大学現代ビジネス学部・大学院 (名城大学農学部生物環境科学科准教授)
橋本 啓史	個人会員 (四日市大学環境情報学部 野生動物保全学研究室)
野呂 達哉	なごや外来種を考える会
野中 賢輔	個人会員(愛知学院大学教養部准教授)
富田 啓介	名古屋昆虫同好会
戸田 尚希	なごや東山の森づくりの会
瀧川 正子	名東自然倶楽部
高木 和彦	滝ノ水緑地の里山と湿地を育てる会
鷲見 順子	名古屋自然観察会
佐藤 裕美子	個人会員(専門分野:水生生物)
榊原 靖	なごや環境大学実行委員会
齋藤 牧	個人会員(専門分野:水生植物)
小菅 崇之	名古屋市立大学大学院理学研究科 生物多様性研究センター
熊澤 慶伯	山崎川/グリーンマップ
大矢 美紀	個人会員(専門分野:水質)
大沼 淳一	花水緑の会
梅本 洋子	愛知守山自然の会/名古屋自然観察会
石原 則義	所属団体等

幹事一覧

2 動物調査と保全対策部会の事業

(1) ニホンイシガメの保全
生息地の個体を保護し、域外保全での繁殖による個体数の回復・系統維持を目指す。



ニホンイシガメの域外保全

(2) カメ類の調査と外来カメの防除
カメ類の生息調査とミシシippアカミミガメをはじめとする外来カメ類の防除を行う。



浮き島型ワナによる捕獲

(3) 哺乳類の調査と外来哺乳類の防除
自動撮影カメラや捕獲罠によって哺乳類の生息状況を調べ、アライグマ等の外来哺乳類の防除を行う。



カゴ罠による哺乳類調査

(4) コウモリ類の調査と保全
音声によりコウモリ類の分布状況を把握し、ねぐら等の保全を行う。



バットディテクターによる調査

(5) 哺乳類の分析と標本作製
調査で得られた生物を解剖し分析するとともに、標本作製し、啓発活動に活かす。



標本作製

3 水辺の生きものの部会の事業

(1) 池干しモニタリング調査
池干し前の生態系や池干しによる影響を把握するため、継続的なモニタリング調査を行う。



ガマ池のモニタリング

(2) なごやの希少種対策
オニバスやカワバタモロコなど様々な希少種について、継続した生息・生育環境調査を行うとともに、mtDNAや環境DNAの解析を行い、保全対策の検討や生物相の把握を図る。



カワバタモロコの域外保全

(3) 外来種対策及び普及啓発①
日本各地で国外産ドジョウが見つかり、交雑や種間競争等による影響が懸念されているため、市内で改めて生息調査やDNA解析を実施し、遺伝子情報を把握する。



交雑が懸念されるドジョウ（液浸標本）

(4) 外来種対策及び普及啓発②
2011年度に87か所のため池調査を行って10年が経過したため、追跡調査を実施し現状と遷移を把握するとともに、園芸スイレンについて改めて普及啓発を進め根絶を目指す。



園芸スイレンの除去（東山新池）

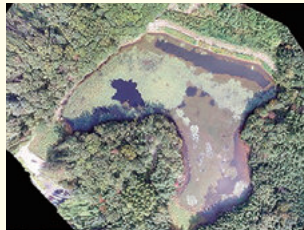
4 生物情報モニタリングデータベース部会の事業

(1) 生物情報の収集・登録・発信
なごや生物多様性センターのウェブサイト上の「なごや生きものマップ」を通じて生物情報を収集し、分布図を公表。



なごや生きものマップ

(2) 写真等のデータベース化
過去のなごやの写真・フィルムをデジタルデータ化するとともにデータベース化する。



猪高緑地塚ノ杵池（2015年）

(3) ドローンによる空撮
なごやの自然の今を記録に残すため、ドローンによる空中写真の蓄積を進める。

5 里山林・社寺林部会の事業

(1) 植物相植生調査・巨樹調査
市内の主要な緑地、保全地区、社寺林などで植生調査、植物相調査、巨樹調査を実施。具体的に保全すべき場所や種を明らかにする。



植生調査（天白溪）

2019年から、千種区、名東区、東区、熱田区、昭和区、天白区、緑区、守山区等で実施

(2) 希少種の生育環境調査
希少種の保全のため分布や生育環境について調査。保全に必要な環境条件等の啓発につなげ、環境学習の素材として有効な情報を提供する。



ササユリの調査（平和公園）

活動場所：平和公園、小幡緑地、大高緑地等

(3) 現地管理者・保全団体等との情報交換会
部会の調査で得られた情報を現地管理者、行政、市民等に伝える仕組みづくりを行う。



クロミノニシゴリの調査（小幡緑地）



情報交換会（白鳥古墳：2020年度）



6 両生類部会の事業

(1) 両生類の生息調査
全国的に個体数が減少しているカエル類やサンショウウオ類、イモリ類の生息調査を行い、保全活動の基盤となる情報を集積する。



オワリサンショウウオの調査

(2) 遺伝子分析による調査
外部形態の特徴とDNA分析によってナゴヤダルマガエルの地域ごとの交雑状況等を調べる。



遺伝子の分析

(3) 生息域内外での保全活動
オワリサンショウウオやアズマヒキガエル等の生息環境の改善に向け、産卵地の改善や産卵した卵のうを一時的に保護し、幼生の放流を行うことで生息数の回復を図る。



(4) 外来カエル・ザリガニの防除
在来の両生類を保護するとともに、与える影響を調べるために、ウシガエルやアメリカザリガニの防除を行う。



捕獲されたウシガエル



7 昆虫類部会の事業

(1) 定点調査
毎年、名古屋市及びその周辺の緑地公園1〜2か所で、様々な採集方法により、そこに生息する昆虫類（クモを含む）やその環境を調査し、生物多様性の現状を把握する。



ジャコウアゲハ

(2) 採集・観察会
市民参加による昆虫類の調査会を開催し、様々な昆虫類の生態や種類を観察、また採集し観察することにより、生物調査の目的、方法、生物の識別などの研修の場とする。

なごビオでは以下の事業にも取り組んでいます

●活動支援事業

なごビオ会員が行う生物多様性保全の活動に対して、調査機材の貸し出しや講師等の派遣及び会場借上げ費用の助成を行っています。また会員以外の地域団体の活動にも調査機材を貸し出すなどしています。

●助成金制度

自然環境保全に取り組む学校の部活動等の活動に助成金を交付し、次世代の担い手づくりを支援しています。毎年1月に次年度の交付金申請を募集しています。



市郷高校のビオトープ・農園（2021年度助成団体）

●イベントへの出展

「環境デーなごや中央行事」や「なごや生物多様性センターまつり」に参加し、なごビオの活動を展示などにより紹介しています。

受賞歴

「生物多様性アクション大賞 2019審査員賞」
(2019年度受賞、環境省)



「あいち・なごや生物多様性ベストプラクティス」
(2020年度受賞、愛知県・名古屋市)

